

## リュープリン®供給量の低下について

2021年9月7日

日本泌尿器科学会 会員各位

前立腺癌治療薬であるリュープリン®の供給量低下と同種同効薬の出荷状況について周知させていただきます。

このたび武田薬品工業よりリュープリン®注射用 3.75 mgおよびリュープリン®SR注射用キット 11.25 mgの製造・供給量が低下するとのプレスリリースがありました。代わりにリュープリン®PRO 注射用キット 22.5 mgの優先製造が行われま

す。  
リュープロレリン酢酸塩としては、ニプロおよびあすか製薬よりジェネリック薬（リュープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75 mg 「NP/あすか」）が製造、供給されています。出荷調整はありません。

ゾラデックス®3.6mg デポ及びゾラデックス®LA10.8mg デポ（アストラゼネカ）に関しては、一時的な市場変化への対応と今後の適正な供給を継続するために、特約店への出荷量の調整が行われます。現状では通常通り使用可能の見込みです。

ゴナックス®（アステラス製薬）に関しては、現時点では出荷調整は行われません。

学会員の皆さまにおかれましては、以上の点にご留意の上、リュープリン®をご使用中あるいは使用予定の前立腺癌患者様の診療に支障を来さないようご配慮いただきますようお願い申し上げます。

<参考サイト>

武田薬品工業株式会社

<https://www.takedamed.com/content/medicine/newsdoc/210906.pdf>

アストラゼネカ株式会社

<https://med.astrazeneca.co.jp/product/ZOL.html#>

一般社団法人日本泌尿器科学会

理事長 野々村 祝夫

泌尿器科腫瘍部会長 北村 寛

広報委員長 土谷 順彦

保険委員長 藤井 靖久